

発 言 通 告 書

令和3年11月29日

松山市議会議長 若江 進 殿

松山市議会議員 檜垣良太

次のとおり通告します。

発言順位	13	受領日時	11月29日 午前 10時 10分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 30 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者			

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	新型コロナウイルス感染症による後遺症への本市の対応について	(1) 社会復帰を阻害しかねない新型コロナウイルス感染症による後遺症に関する本市の所見について (2) 新型コロナウイルス感染症に罹患し回復された方への本市の支援について (3) 新型コロナウイルス感染症による後遺症への理解促進に向けた本市が取り組む周知・啓発について (4) 新型コロナウイルス感染症による後遺症の有症状者を、速やかに医療機関につなげ、社会復帰をサポートしていく取組に対する本市の今後の展望について
2	新型コロナウイルス感染症における流行及び発生状況の把握方法について	(1) 下水調査に関する現在の本市の認識について (2) 国による市中感染状況と下水中の新型コロナウイルス濃度との間に明確な相関関係が示されていないことから下水調査に関する有効性に対する認識を本市として示すことができないとの見解を示しているが、学術機関や民間企業等の社会実験に参加することへの本市の所見について
3	垣生地区における内水氾濫対策について	(1) 現在の垣生地区における貯木場を活用した遊水池活用案の進捗状況について (2) 平成31年3月定例会にて垣生地区における三反地川の内水氾濫対策に関して「河口にある貯木場を遊水池として活用すべく、防潮水門を所管している愛媛県と協議していきたい」と答弁し一定の方向性を見いだすまでに時間がかかりすぎているかのようにも感じるが、時間を要している理由について (3) 三反地川流域に設置された仮設水位計のデータから得られた分析結果及び分析結果の利活用について

